

行政提案型協働事業報告会アンケート結果（H24.5.28 開催）

【市民活動推進委員アンケートより】※指摘事項のみ

●報告会の開催方法について

- ・協働の観点から、成果や課題に関して、行政とパートナーの役割や分担の内容をそれぞれ具体的に明確に整理した上での報告会であってほしい。
- ・報告者はパートナー中心であったが、今回は行政提案型なので、パートナー側と行政側の両者の報告機会（場面）があっても良かったのではないか。
- ・質問の時間はもう少しあってもいい。
- ・自分たちの団体の活動についての報告と混同することのないように、行政側の所管課を含めて周知する必要を感じた。
- ・事前に実施報告書・関係資料は送付していただいたが、評価票については当日配布であったので評価項目やその内容について確認する時間が短かったように思う。
- ・もっと他部署の職員や議員、市民活動を支える会の人たちに来てもらいたかった。

●評価方法について

- ・事業目的・目標達成度の評価項目は事業内容によっては難しいと考える。
- ・事業者本人が自己評価をするのが良いと思う。協働事業はまだ初期段階にあるため実際に事業を行った方々の自己評価は今後の発展に有益であると考え。併せて市・団体から協働事業に対する感想・意見・（希望があれば）提言を文書なりで提出してもらえば多くの意見を集約できるのではないか。
- ・事業目的・目標達成度、費用対効果、協働の効果、役割分担の実績に関する報告（実施後の自己評価）があるとよいと思う。
- ・中長期の評価方法の検討が必要ではないか。事業終了時の評価だけではなく、例えば子育てマップやボランティアセンターの運営マニュアルなどは、その後どのように活用されたかなどの追跡調査も必要ではないか。
- ・今後の効果的活用を期待するところが大きく、長期的な見通しをもった評価が必要になってくると感じる。